◎世界を照らす太陽の仏法　第 58 回
妙法を唱え弘める実践は、相手を幸福の軌道に導くことはもちろん、自分自身も福徳に包まれ、自他共に幸せになる直道です。弘教の行動には、仏道修行の一切が余すことなく含まれ、信心が凝縮されています。

（「大白蓮華 2020 年 2 月号」31 ページ）

「真心が通じますように」「如来の使いとして、今世の使命を果たさせてください」と祈り抜きながら、大きな心で進めばよいのです。全部、仏縁になるのですから、楽しく賑やかにやればいいのです。語った方も、話を聞いた方も、両方、功徳が出る。「声仏事を為す」（御書 708 ページ等）です。

（同 34 ページ）

遠大な世界広宣流布といっても、その根本は、眼前の一人との対話から始まります。

（同 43 ページ）